

所沢市総合計画 実施計画（2015～2018）策定要領

1 平成27年度 実施計画策定にあたっての基本的な考え方

今後の財政予測において、歳入については、ほぼ横ばいと見込まれる中、歳出においては、扶助費などの社会保障費が伸びていくことが見込まれるなど、厳しい財政状況が続くものと予想されている。

このような中、本市では『動け！所沢 紡ごう！絆』を合言葉に、今後も機を見て敏に動き、未来（あす）につながる取り組みを実践していくことが求められている。

こうしたことを踏まえ、限られた財源を最大限有効に活用し、市民福祉の向上に資するため、以下の基本的な考え方に基づいて、平成27年度の実施計画を策定するものとする。

（1）優先する事業選択の視点

平成27年度は後期基本計画の計画期間の初年度にあたり、前期基本計画に引き続き、第5次所沢市総合計画基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、以下の項目を視点として、事業全体のバランスや財源等に配慮しながら、優先する事業の選択を行うものとする。

- ① 後期基本計画に掲げる「総合的に取り組む重点課題」の課題解決への貢献度が高いか。
- ② 総合計画の「まちづくりの目標」に位置付けられた施策実現のための貢献度が高いか。
- ③ 市長公約を実現するための貢献度が高いか。
- ④ 各部等の「組織目標」達成のための貢献度が高いか。
- ⑤ 市民意識調査の結果や市長への手紙等から、市民要望度が高いか。
- ⑥ 行政評価等の結果から、事業実施の効果や経費節減の効果が高いか。
- ⑦ 早急に実施すべき緊急度の高い事業か。
- ⑧ 後年度の財政負担が過大となり、将来の市財政を圧迫することのない事業か。
- ⑨ 法改正等により、事業実施が必須とされる事業か。
- ⑩ 防災やエネルギー対策等への効果が高いか。
- ⑪ その他

（2）事業ランクの種類

「A」ランク：将来都市像を実現するため、最優先に取り組むべき事業

「B」ランク：将来都市像を実現するため、着実に進めるべき既存事業
最優先事業以外の新規事業

「C」ランク：平成27年度は実施を見送るべき新規事業

※新規事業については、「A」ランク、「B」ランク若しくは「C」ランク、既存事業については、「A」ランク、若しくは「B」ランクとする。

(3) 事業の見直しについて

既存事業については、事務事業評価等により検討を行い、業務の縮小、統合、休止又は廃止等も視野に入れ見直すこと。また、新規事業については、財源の確保に努めるものとする。

2 事業ランクの決定及び予算措置

(1) 事業ランクの付与と決定

各部等が優先するものとして選択した事業は、「実施計画調整会議」において、1 (1) の視点に加え、市全体のバランス・財源・市民へのアピール度などを考慮し、特に優先的に取り組むべき事業と判定されたものは、最優先事業として「A」ランクとなる。最優先事業以外の事業は「B」ランクになるが、新規事業については事業実施の可否が判定され、実施を不可とする事業は「C」ランクとなる。その後、実施計画調整会議で付与された事業ランクは、政策会議で発議し決定する。

(2) 事業ランクと予算措置について

- ① 「A」ランクと決定された新規事業及び既存事業は、優先的に予算配分することとし、財政課において予算査定事務を行う。
- ② 「B」ランクと決定された事業のうち、既存事業は財源に見合う予算配分を行い、新規事業は予算要求はできるが財源の範囲内とし、いずれも財政課において予算査定事務を行う。
- ③ 「C」ランクに決定した新規事業は予算措置を行わない。

3 今後のスケジュール（予定）

《平成26年》

- ・ 6月中旬 実施計画策定調書の作成依頼
- ・ 7月中旬 各部等より実施計画策定調書の提出
- ・ 7月下旬～8月下旬 各課ヒアリング
- ・ 9月中旬 実施計画調整会議
- ・ 9月下旬 市長・副市長ヒアリング
- ・ 10月上旬 事業ランクについて政策会議へ発議

《平成27年》

- ・ 3月下旬 実施計画書について政策会議へ報告